



### 文化発表会を終えての感想紹介 —中編—

中学校に入ってから初めての合唱コンクール、文化発表会。クラスでの取り組みや、舞台を視ての感想など、各クラス数名ずつですが、紹介します。



#### 5組 31番 増田望美さん

合唱コンクールの練習の時、私はアルトパートのリーダーと、自由曲の伴奏者、課題曲の指揮者をしていました。どれも一生懸命に練習し、みんなの歌が少しでも良くなるように全力を出してがんばりました。結果は「賞」はとれなかったけど聞いてくれてるみんなに感動を伝えられたと思います。文化発表会では、それぞれの学年の最優秀賞クラスと優秀賞クラスの歌を聞きました。まず、私達の代表クラスの内のひと組、「4組」のみんなです。歌を聞いててすごく感動しました。合唱コンクールの時、男子の声か女子の音量に負けてバランスが悪かったけど文化発表会の際はバランスが良く美しいハーモニーだった。そして、「1組」はさすが最優秀賞クラス。声もでていて、バランスも良く、美しいハーモニーだった。何より、男子の声と音程が正しい。私達5組の男子はクラスの中で声変わりの中間の人が多く、音とりが大変だったのですが、1組は男子も正しい音がとれていた。そして2年生。2年生は両クラスともやはり1年生とレベルが違いすぎました。声もでていて、声か美しくすぎます。最後は3年生。片山先生が言っていた、あの「おっさんボイス」がどういふ物なのかはやく聞きたくてたまりませんでした。「3組」を聞いたしゅん間、私は言葉に表せないほどに感動しました。男子の低く体育館中にひびきわたる歌声と女子の高く美しい歌声がひびいていました。しかも、3年生が歌う歌は、歌詞の意味もとても心に「グッ」と来るものばかりです。その歌詞の意味を理解して歌える3年生は素晴らしいです。「4組」の先ばい達もそうでした。あの時感じた「感動」は一生忘れなないと思います。3年生になったら、あんな美しいハーモニーをひびかせたいです。

#### 3組 33番 山口史乃さん

私は吹奏楽部だったので舞台上で演奏しました。その時に、文化委員の男子達が舞台そででいろいろなことをしてくれていました。その時に、みんなには見えていないけれども影で働いていて、このように影で働いている人がいるからイベントがなりたつのだなと思いました。舞台発表は特に2年生のトライやるウィークの発表が印象に残っています。理由はクイズのときに「トライ」とみんなで行うのが楽しかったからです。また、3年生の学年合唱が私達とくらべて迫力が全然ちがいました。男子も声変わりしているため安定感がちがうかったし、ソプラノ、アルト、男声のバランスが良かったです。とても楽しい文化発表会でした。



#### 4組 28番 藤瀬結愛さん

最初、私は合唱コンクールなんて優勝しなくてもいいと思っていました。合唱コンクールで勝っても、文化発表会に出て歌わなければいけないし恥ずかしいので嫌でした。最初の練習は全然声を出していませんでした。だけど、練習を重ねていくうちに、とくやま先生が、「4組は上手だから、今のところ1番ぐらい!」と言ってもらい、私も頑張ろうと思えるようになってきました。放課後の合唱練習が始まった頃にはもう、クラスみんなとても大きな声で歌っていました。黒板には大きな楽風には、音楽係さんが記号のところを色付けしたりしてくれていて、とても分かりやすかったです。ついに合唱コンクール当日。みんなとっても緊張していて心配だったけど、朝練では声が出ていて、少し安心しました。でも、1番の敵は1組で、とても男子が上手です。どうなるか不安でした。でも力は出し切ろうと思って一生懸命歌いました。私たち4組は「優勝」をすることができなくて準優勝だったけど、絆が前よりも深まったんじゃないかなと思います。

文化発表会で歌ったのですが、やっぱり三年生にはかなわないと改めて感じました。楽風がなくても、子音と母音の発音がしっかりしているので、非常に聞きやすかったです。三年生の学年で歌う合唱では、より迫力が増して、とても格好よかったです。

私たちの学年も、今年の三年生をこえるくらいの声の大ききで歌えるようになりたいです。

### 1組 30番 正木結菜さん

合唱コンクールの練習が始まったときは恥ずかしくて大きい声で歌うことは出来なかったけど、だんだん練習していくうちに、優勝したいと思うようになって、口を大きく開けて歌えるようになりました。その時には、クラス全体でもきれいにそろうようになって、リハーサルでは一番上手だったと徳山先生にもほめてもらえてうれしかったです。でもリハーサルの時、注意された部分があって、それを本番までになおして本番に出ました。本番のときは、リハーサルではいなかった保護者の方が来ていて、とてもきん張りました。でもリハーサルより本番の方が、気持ち良く歌えたと思いました。その結果最優秀賞をとることができました。体育大会も優勝でき、合唱コンクールでは最優秀賞と、2冠とれてとてもうれしかったです。

文化発表会では2年生も3年生も見えてとてもきん張りました。文化発表会では展示見学もありました。学年が一つ上がるごとにクオリティーが高くなっていました。いろいろな発表もあって、2年生のトライやるウィークの発表では、いろいろな工夫があって、楽しめました。有志のダンスではキレッキレにおどっていてすごいと思いました。来年の文化発表会も楽しみです。

### 5組 12番 梶本実里さん

合唱コンクールの練習でみんな気合いがすごかったと思います。これはどのクラスよりも負けていなかったはずです。練習の時間、パートリーダーが皆をまとめている態度でどれだけ合唱コンクールに向けて力を入れているかが分かりました。1人でもミスをする、そこを何回も練習していて、私はそれまで合唱コンクールがどれだけ5組にとって大切な事かを知りませんでした。5組だけでなく全学年が本気なんだとあらためて実感しました。その日になると教室のふんいきがすこし変わったような気がしました。みんなが協力してきた分だけきんちょうも大きいと思います。すこし足がふるえて、どれだけこの日にかけていたかが分かります。ステージに上がると大きな手とともに、増田さんがスマイルと言いたかったと思いますが、口元に手をあてて、きんちょうをほぐそうとしていました。少しはかたの力がぬけたんじゃないかなと思います。ステージの上では堂々としていました。どのクラスもがんばっていたので、みんな声にはく力があって、すきとおっているみたいにきれいだったと思っています。歌い終わった後の安心感かなんだか分かりませんが、歌いきった後のクラスみんなの顔が明るいように感じました。結果が発表された時、きっと皆くやしかったと思います。そのくやしいという思いの分だけがんばったからくやしいというかんじょうになるのではないのでしょうか。練習のときも1組とくらべられてくやしかったので、5組のその気持ちだけは誰にも負けないと私は思います。きっと来年こそはこのけいけんをいかして最優秀賞ねらえるんじゃないのでしょうか。アルカイックも行ってみたいですね。

### 3組 32番 宮澤希果さん

私は悩んだ事も嬉しかった事も感動した事もいっぱいありました。まず悩んだ事は合唱コンクールのピアノです。私は小学校からピアノを習っていたけど、伴奏をした事がなくて不安のまま練習をはじめました。夏休みまではじゅんちょうに進んでいましたが、夏休みをすぎて初めての練習、前日までは全然ひけていました。でもみんなにあわせるとなると思うように手が動きませんでした。私はその日からすごく不安な日々が続き、色んな事を考えすぎるようになりました。「自分がひけなかったらみんなをだいなしにしてしまう」、「ひかれへんかったらへんな目で見られる」など…。私は自分に自信がなくなって行って、家でピアノをひくこともいやになりました。何日かたった日、合唱の練習で放課後多目的室にいました。私はひくのがいやでしかたがなかったけど、ひき終わった後、藤田先生が「ののかもむっちゃ成長したと思う」とみんなに言ってくれました。先生がこう言ってくれたので自分に自信ができました。私は藤田先生にすごく感謝したいです。3組のみんなで1位とることはできなかったけど、私の中では3組が一番良かったと強く思っています。本番でみんなが上手く歌をうたえて、ピアノがしっかりひけてよかったです。



### 2組 27番 藤井衣加さん

合唱練習では、クラスの人たちと協力して取り組むことができた。最初は全ぜん音が合っていなかったり、声のでていなかったりと、たくさんおさないといけない所があって、少しいやになっていたけど、声をかけ合ったりして、だんだんとできるようになっていった。私はピアノをされていて、初めは歌と全ぜん合っていなかったし、とまったりしていたけど、家でもたくさん練習して歌と初めて合ったときはすこうれしかった。ほうかごにも練習していくうちに、しっかり「合唱」になっていたのでよかった。

合唱コンクールの日は、一番最初ですごくきんちょうしたけど、歌もしっかり歌えだし、ピアノばんそうも、最後までまちがえずにひけてよかった。先生からも「一番よくできていた」「きれいだった」と言ってもらえてうれしかった。文化発表会で歌うことはできなかったけど、クラスの人と協力して一生けん命に取り組めたのでよかった。

文化発表会で選ばれたクラスの人たちの合唱を聞いて、すごいなと思った。3年生の合唱は全ぜん自分たちの合唱とちがって、はく力もあったし、とてもきれいだった。来年もまたがんばりたい。